

윤지충 [尹持忠・ユンジチュン]パウロと 123 殉教者について



1984年の김대건 [金大建・キムデゴン] アンドレア神父と102殉教者の列聖は、
韓国カトリック教会にとって、大きな喜びであり光栄であった…

しかし、列聖式が終わった直後、多くの信者たちは一つの惜しさと切なさを吐露した。辛亥迫害(1791)⁽¹⁾と、辛酉迫害(1801)⁽²⁾の殉教者たちが、まだ列聖列福⁽³⁾されていなかったからである。そんな中、司教会議の「200周年記念事業委員会」⁽⁴⁾と、各教区によって進められて来た殉教者たちの列聖列福のための努力は、1997年司教会議の秋季定期総会において、「統合的に推進すること」が決まり、新しい局面に入ることになった。

関連教区の殉教者列聖列福施担当神父たちの集まりが、司教会議の事務局長김종수 [キムジョンズ] 神父の主催で何度も開かれ(1998~2000年)、ついに、2001年3月司教会議の春季定期総会において、列聖列福を統合推進していく請求者(推進主体)として「司教会議」が明示された。初代の担当司教として、馬山[マサン]教区の박정일 [朴正一・パクジョンイル] ミカエル司教⁽⁵⁾を選出した。

⁽¹⁾ 朝鮮王朝におけるカトリック教会の迫害は、教会が創設(1784年11月頃)されて、およそ半年後の1785年3月(陰曆)には、既に始まっていた。4大迫害と呼ばれる辛酉迫害(1801年)・己亥迫害(1839年)・丙午迫害(1846年)・丙寅迫害(1866年)を始めとして、比較的規模は小さかったが、辛亥(1791年)・乙卯(1795年)・乙亥(1815年)・丁亥(1827年)・庚申(1860年)などが相次いだ。4大迫害は、朝廷の公式な介入によって引き起こされたが、その他の迫害は、朝廷の公式な指示はなく、捕盗庁(成宗から中宗の治世にかけて創設された。漢城府(現ソウル)と京畿道の警察業務を担当する部署。日本の警視庁に相当する組織)の長官や、一部の地方官吏が独断で迫害を指示し、始まった点で区分される。辛亥迫害は、1791年(辛亥年・正祖15年)に韓国で起きた最初のカトリック教会の迫害事件である。辛亥教難、または、辛亥邪獄、珍山事件とも呼ばれる。

⁽²⁾ 辛酉迫害は、1801年(辛酉年・順祖1年)に発生したカトリック教会の迫害事件である。時派(正祖の治世、党派間の争いを防ぐために、党派間の勢力均衡を押し進めた統治策(蕩平策)を支持した党派)と、僻派(蕩平策に反対した党派)の政治闘争において、時派の除去を長年の宿願にしていた僻派が、カトリック弾圧を大義名分に起こした事件。純祖の摂政(国王の代わりに政治を取り仕切る人)であった前王の後、貞純王后金氏が僻派に属する女性だったからである。1801年1月11日(陰曆)貞純王后金氏は、カトリック教会信徒たちに対する迫害を宣言し、全国に「五家作統法」(5つの家を1つの「統」としてまとめ、税金や治安のために朝廷の統制力を強化した制度。純祖の時代には、1つの家でカトリック教会の信徒が摘発されれば、5つの家をすべて処罰した)を打ち出し、もれなく告発をさせては、信徒たちを根絶やしにするようにした。

⁽³⁾ 韓国語では「諡福諡聖」という。

⁽⁴⁾ 1984年は韓国にカトリック教会が創設されて200周年を迎える年だった。これをきっかけにして多くの分野において記念碑的の事業が進められた。まず教会は、200周年記念司牧会議を開催して、韓国教会が当面していた問題を全般的に検討した。そして、韓国初の教皇訪問、信仰大会、103殉教者の列聖式など、各種行事を推進した。韓国カトリック教会が、この地に福音の種子を蒔かれてから、200周年となることを盛大に記念しつつ、韓国カトリック教会の、新しい宣教の第3世紀を開幕するのに大きく寄与した。1984年、200周年記念事業委員会は解散した。

⁽⁵⁾ 馬山教区第3代教区長(1989年2月~2002年11月)

辛酉迫害200周年を記念する2001年10月18日に、「列聖列福司教特別委員会」が立ち上げられ、殉教者たちの列福案件を統合的に推進して来た。その結果、2004年7月5日に列福調査法廷を開くことになった。それ以降のプロセスは、証人たちに対する召還調査、文書証拠の提出、功績敬拝がないことを調査する現場訪問、訴訟記録物の公表、補充証拠の提出、翻訳文の提出、写本の作成と文書の対照にて法廷は終了する。法廷は計36会期にわたり2009年5月20日に閉廷した。こうして韓国カトリック教会の次元では列福列聖調査は完了した。これらの列福調査文書は、2009年6月3日に列聖省に正式に受理され手続きが進められることになった。

「神の僕」124殉教者は、1791年辛亥迫害3名、1795年乙卯迫害3名、1797年丁巳迫害8名、1801年辛酉迫害53名、1814年に1名、1815年乙亥迫害12名、1819年に2名、1827年丁亥迫害4名、1839年己亥迫害18名、1866年と1868年の丙寅・戊辰迫害19名、1888年の1名と、辛酉迫害前後の殉教者たちが列福推進の中心にある。己亥迫害と丙寅迫害の殉教者たちは、103殉教者の列聖推進プロセスから漏れたが、殉教の事実が新しく研究され、関連地域において顕揚されて来た殉教者たちが含まれるようになった。

▷1791年辛亥迫害の3名…1791年12月8日韓国カトリック教会で最初に斬首され殉教したのは、윤지충 [尹持忠・ユンジチュン] で、後に続いた권상연 [權尙然・クオンサンヨン] ヤコボは、全州 [チョンジュ] の豊南門 [プナムムン] の城外で殉教した。それから2年後、원시장 [ウォンシジャン] ペトロは、忠清道の洪州 [ホンジュ] で鞭打たれて死に、殉教した。

▷1795年乙卯迫害の3名…윤유일 [尹有一・ユニユイル] パウロと최인길 [崔仁吉・チェインギル] マチア、지황 [池瓊・チファン] サバ⁽⁶⁾ は、주문모 [周文謨・チュムンモ] ヤコボ神父⁽⁷⁾ を守るために、死ぬまで鞭打たれて自分たちの命を主に捧げた。

⁽⁶⁾ セルビアの聖人

⁽⁷⁾ 1752年、中国の江南省全予(ソジュ)に生まれた周文謨ヤコボ神父は、北京教区の神学校に入学し、第1回の卒業生として司祭叙階を受けた。当時、北京のクベア(구베아)司教は、朝鮮に聖職者を派遣しなければならないという考えを持っていた。彼は、信仰心が篤く、朝鮮人に似ていたヤコボ神父を朝鮮宣教師に任命し、聖務の執行に必要なすべての権限を付与した。ヤコボ神父は朝鮮人に変装して、12月24日(陰曆12月3日)の夜、朝鮮に入国した。周文謨神父は秘密裏に、しかし熱心に、聖務を執行した。あちらこちらを歩きながら秘跡を執行し、信徒たちの要理勉強と、布教活動のために明道会[명도회・ミョンドフェ:要理を教える信徒たちの研究と宣教の会]を組織し、要理書も執筆した。このように彼が活動して6年が過ぎ、カトリック教会の信徒数は1万名にも達することになった。しかし、1801年の辛酉迫害が起きるとすぐ、ヤコボ神父は、自分のせいで信徒たちが苦痛を受けると考え、一度は、帰国を決心したものの、「私の羊の群れと運命を共にしなければならず、殉教することによって、すべての不幸を防がなければならない」という考えによって自首を決心した。ヤコボ神父に対しては「さらし首刑」が

▷1797年丁巳迫害の8名…丁巳迫害によって、이도기 [李道起・イドキ]パウロは1798年に忠清道の定山 [ジョンサン] で、방비장 [方裨將・パンピジャン] フランシスコと박취득 [朴取得・パクチドック] ラウレンシオは1799年に洪州で、정산필 [鄭山弼・ジョンサンピル] ペトロは同年、徳山 [トクサン] で殉教した。また、1799年に원시보 [ウォンシボ] ヤコボ、1800年には배관겸 [베관겸・ペグアンギョム] フランシスコが清州 [チョンジュ] で殉教した。인언민 [印彦敏・イノンミン] マルチノと이보현 [李步玄・イボヒョン] フランシスコは、1800年に海美 [ヘ미] で殉教することになった。

▷1801年辛酉迫害の53名…124名の殉教者の中で一番数多い殉教者を出した迫害が辛酉迫害である。この年の3月に、조용삼 [조용삼・ジョヨンサム] ペトロは、京畿道の감영 [監營・カミョン：朝鮮時代、各地域の觀察使が常駐し業務を行っていた役場] において獄死した。4月には、최창현 [崔昌顯・チェチャンヒョン] ヨハン、정약중 [丁若鍾・チョンヤクチョン] アウグスティノ、홍교만 [洪教萬・ホンギョマン] フランシスコ・ザビエル、최필공 [崔必恭・チェピルゴン] トマス、홍낙민 [洪樂敏・ホン낙민] ルカが、西小門 [소문] 城外で殉教した。同日、処刑された이승훈 [李承薰・イスンフン] ペトロについては、いまだ、殉教の事実について異論があり、歴史的・神学的研究が終わっていないために、現在、列福申請対象者からは外されている。

同年4月、최창주 [崔昌周・チェチャンジュ] マルチェリーノ、이중배 [李中培・イジュン배] マルチノ、원경도 [元景道・ウォンギョンド] ヨハンが、京畿道の驪州 [요주] で殉教し、윤유오 [尹有五・ユニョオ] ヤコボは、京畿道の陽根 [양근] で殉教した。5月には최필제 [崔必悌・チェピル제] ペトロ、윤운혜 [尹雲惠・ユニョ혜] ルチア、정복혜 [鄭福惠・ジョンボкке] カンジダ、정인혁 [鄭仁赫・ジョンイニョク] タデオ、정철상 [丁哲祥・ジョンチョルサン] カロロが西小門城外で殉教した。旧暦の4月初めには、심아기 [沈阿只・シマギ] バルバラが捕盗庁で鞭打たれて殉教した。1801年5月31日、当時、朝鮮にいた宣教師として初めて、주문모 [周文謨・チュムンモ] ヤコボ神父が、새남터 [세남터] で壮烈に殉教した。

同年7月、강완숙 [姜完淑・カンワンスク] コロンバ、강경복 [姜景福・カンキョンボク] スザンナ、김현우 [金顯禹・キミョヌ] マテオ、문영인 [文榮仁・ムンヨンイン] ビビアンナ、김연이 [金連伊・キミョニ] ユリアナ、최인철 [崔仁喆・チェインチョル] イグナシオ、한신애 [韓新愛・ハンシ네] アガタが西小門城外で殉教した。윤점혜 [尹占惠・ユンジョ혜] アガタと정순매 [鄭順每・ジョンスン매] バルバラは、同年7月、陽根と驪州で、それぞれ殉教した。陰暦5月には김이우 [金履禹・キミウ] バルナバが、ソウルの捕盗庁で、이국승 [李國昇・イグクスン]パウロが公州 [공주] で殉教した。8月には김광옥 [金廣玉・キムグァン옥] アンドレア가禮山 [이산] で、김정득 [金丁得・キムジョンドック] ペトロが大興 [대흥] で、한정흠 [韓正欽・ハンジョンフム] スタニスラオ가金堤 [김제] で、김천애 [金千愛・キムチョ네] アンドレア가全州で、최여겸 [崔汝謙・チェヨギョム] マチアは全羅道茂長 [무장] で殉教した。

同年10月、김종교 [金宗敎・キムジョンギョ] フランシスコと홍필주 [洪弼周・ホンピル주] フィリポ가西小門城外で殉教した。同月、全州では유항검 [柳恒儉・ユハンゴム] アウグスティノ、윤지현

宣告され、神父は刑場に定められた漢江 [한강・ハンガン] 近くの새남터 [세남터] に引きずられて行った。1801年5月31日 (陰暦4月19日) 斬首され命を捧げた。年齢は50歳であった。

[尹持憲・ユンジホン] フランシスコが殉教した。11月には、유중철 [柳重哲・ユジュンチョル] ヨハネ (이순이 [李順伊・イスニ] ルガルダと童貞夫婦⁶⁾) と、유문석 [柳文碩・ユモンソク] ヨハネが全州で殉教し、12月には、현계흠 [玄啓欽・ヒョンゲフム]パウロが西小門城外で殉教した。

▷1802年1月(旧暦1801年12月)に、김사집 [キムサジプ] フランシスコが清州で殉教した。同月、손경윤 [孫敬允・ソンギョヌン] ゼルファシオ、이경도 [李景陶・イギョンド] カロロ、김계완 [金啓完・キムゲワン] シモン、홍익만 [洪翼萬・ホンインマン] アントニオが西小門城外で殉教した。同月、정광수 [鄭光受・ジョングァンス] バルナバは驪州で、한덕운 [韓德運・ハントグン] トマスは南漢山城 [ナマンサンソン] で、황일광 [黃日光・ファンイルグァン] シモンは洪州で、홍인 [ホンイン] 레오 [레오] 레オは抱川 [보천] [ボチョン] で、권상문 [權相問・クォンサンムン] 세바스티アーノ [세바스티아노] 세바스티アーノは陽根で、이순이 [李順伊・イスニ] 루갈다 [루갈다] 루ガルダと유중성 [柳重誠・ユジュンソン] 마테오 [마테오] マテオは全州で殉教した。

乙亥迫害直前の1814年12月、海美では聖김대건 [金大建・キムテゴン] アンドレア神父⁹⁾ の曾祖父김진후 [金震厚・キムジンフ] 피오 [피오] ピオが獄死した。

▷1815年乙亥迫害の12名…旧暦4月に김윤덕 [金允德・キムユンドク] 아가타 [아가타] アガタ・マグダレナが、旧暦5月に김시우 [金時佑・キムシウ] 알렉시오 [알렉시오] アレクシオと최봉한 [崔奉漢・チェボンハン] フランシスコが、同年末には서석봉 [徐碩奉・ソクボン] 안드레아 [안드레아] アンドレアが大邱で殉教した。김강이 [金綱伊・キムガンイ] 시몬 [시몬] シモンは12月に原州 [원주] [ウォンジュ] で殉教した。김희성 [金稀成・キミソン] 프란시스코 [프란시스코] フランシスコと구성열 [具性悅・クソンヨル] 바르바라 [바르바라] バルバラ、이시임 [李時壬・イシイム] 안나 [안나] アンナ、고성대 [高聖大・コソンドン] 페트로 [페트로] ペトロと고성운 [高聖云・コソヌン] 요세프 [요세프] ヨセフ兄弟、김종한 [金宗漢・キムジョンハン] 안드레아 [안드레아] アンドレアと김화춘 [金華春・キムファチュン] 야코보 [야코보] ヤコボが大邱で12月に殉教した。

⁶⁾ 夫婦となるにあたって男女の交わりを持たないことを誓い、兄弟姉妹として霊的交わりの内に過ごすことを決意した夫婦のこと。

⁹⁾ 김대건 [金大建・キムテゴン] は、1821年、忠清道 [충청도] [チュンチョンド] の솔매 [솔매] [ソルメ] : 松が残った小さな裏山の意) で、カトリック教会信徒김제준 [金濟俊・キムテジュン] 이그나시오 [이그나시오] イグナシオと、고우르술라 [고우르술라] [コウルスラ] の息子として誕生した。彼の力強い性格とまっすぐな信心を見て、1836年、羅ペテロ [로베르] [モーバン・Maubant] 神父は、彼を神学生として選び、マカオに留学させた。彼は6年間、神学の勉強をして、1845年8月、페레올 [페레올] [ペレオル・Ferreal] ヨハネ司教から司祭叙階を受け、韓国人最初の神父となった。故国に帰ってきた金神父は、ソウルと용인 [龍仁・ヨンイン] 地方で司牧活動を始めたが、1846年の陰暦4月、司教の命令に従い、宣教師らの手紙を中国船に預け、宣教師たちの入国経路を切り開くために、黃海道 [황해도] [ファンヘッド] 地方に行くことになった。金神父は手紙を中国船に預け帰ってくる途中、巡威島 [순위도] [スニド] で官憲に逮捕され、ソウルの좌포도청 [좌포도청] [チュアポトチョン] : 朝鮮時代、犯罪者たちを逮捕した官庁。右捕盜庁もあった) に移送された。取調べ中に、金神父の広い見識と堂々とした態度に、大臣たちは、彼を殺すことは国家として惜しいと考えたが、後に余計な災難を被るだろうという영의정 [영의정] [ヨウイジョン] : 議政府3議定の中の一つで、正1位に該当する朝鮮時代最高の中央官職]、권돈인 [權敦仁・クォンドンニ] の主張通り、結局は、死刑を宣告された。金神父の処刑は、1846年9月16日、새남터 [새남터] [セナムト] で、さらし首の手続きにより進められた。金神父は首切役人たちに「カトリック教会の信徒になって、私がいる所に来なさい」という言葉を残し、泰然と刃を受けた。この時、彼の年齢は26歳。彼の首が落ちるや否や、刑場には、大きな雷鳴と共に土砂降りの雨が降ったと伝えられている。

▷1819年8月には조숙 [趙淑・チョスク] ペトロと권천례 [クオンチョルレ] テレサ童貞夫婦がソウルで斬首され殉教した。

▷1827年丁亥迫害の4名…6月に全州で이경언 [李景彦・イギョンオン] パウロが殉教し、11月には박경화 [パクキョンファ] パウロが、12月には김세박 [金世博・キムセパク] アンブロシオが大邱 [テグ] で獄死し殉教した。1835年には안군심 [アングンシム] リカルドが大邱で獄死した。

▷1839年己亥迫害の18名…5月に大邱で이재행 [李在行・イジェヘン] アンドレア、박사의 [朴士儀・パクサイ] アンドレア、김사건 [金思健・キムサゴン] アンドレアが殉教した。同月、全州で이일언 [李日彦・イイロン] ヨブ、신태보 [申太甫・シンテボ] ペトロ、이태권 [李太權・イテクオン] ペトロ、정태봉 [鄭太奉・ジョンテボン] パウロ、김대권 [金大權・キムデクオン] ペトロが殉教した。9月には최해성 [崔海成・チェヘソン] ヨハネが原州 [ウォンジュ] で殉教した。10月に김조이 [金召史・キムジョイ] アナスタシア、11月に심조이 [沈召史・シムジョイ] バルバラが全州で獄死した。12月に이봉금 [イボングム] アナスタシアは、김조이の幼い娘として絞殺され殉教した。同月、原州で、최 [チェ] ビルジタが絞殺され殉教した。

▷1840年1月、홍재영 [洪粹榮・ホンジェヨン] プロタシオ、최조이 [崔召史・チェジョイ] バルバラ、이조이 [李召史・イジョイ] マグダレナ、오종례 [吳宗禮・オジョンネ] ヤコボが全州で殉教した。최양업 [崔良業・チェヤンヨプ] トマス神父⁽¹⁰⁾の母親이성례 [李聖禮・イソンネ] マリアも、同月、당고개 [タンコゲ]⁽¹¹⁾で殉教した。

⁽¹⁰⁾ 韓国の福音化の先駆者であり、カトリックの真の土着化のための先覚者だった。篤いカトリック信者であった両親のもとに生まれ、15歳の時に、최방제 [崔方濟・チェバンジェ]・김대건 [金大建・キムデゴン] などとともに神学生として選抜されて、1837年からマカオで司祭になるために本格的な準備を開始した。1844年に所定の神学の勉強を終えた後、김대건と一緒に朝鮮代牧区の副司教であった페레올 [ペレオル・Ferreal] ヨハネ司教から削髮式と助祭叙階を受けた。その後、1846年から4回にわたって帰国を試みたが失敗し上海に戻って来た。1849年にイエズス会士で江南代牧区長であった마레스카 [マレスカ・Maresca] 司教から司祭叙階を受けて、김대건に引き続き、韓国人2番目の神父となった。あらゆる困難を乗り越え、ついに、1849年末に帰国した後は、宣教の難しさと宣教師たちとの葛藤を経験したりもした。このような中でも、列福のために殉教者たちの資料を収集し、信徒たちのための教理書を編纂するなどした（『天主歌辞』：効果的にカトリックの基本教理を伝えるための教理書）。帰国後12年にわたり厳しい司牧活動を続け、1861年に過労と食中毒のために帰天した。亡骸は神学校裏手にある山裾に埋葬された。김대건は「血の殉教者」と言われ、1984年に列聖されたが、최양업神父は与えられた役務を全うして帰天したために列聖名簿から除かれた。その後、「汗の殉教者」という呼称が付けられ、2001年から韓国カトリック教会で始まった列聖列福運動の一環として、2004年に韓国カトリック司教会議は、최양업神父と124殉教者たちを教皇庁に列福請願した。

⁽¹¹⁾ タンコゲ聖地は、1839年己亥迫害の際に10名の男女信徒たちが殉教した場所で、現在のソウル龍山区役所から三角地方面に向かう時に利用されていた峠であった。この聖地は、韓国カトリック教会にとって、西小門城外、セナムトに引き続き、三番目に多い9名の聖人を誕生させた栄光の地である。

▷1866年丙寅迫害の19名…3月に清州において오반지 [吳盤池・オバンジ] パウロが、大邱において신석복 [申錫福・シンソクボク] マルコが殉教した。12月には公州において김원중 [キムオンジュ] ステファノが殉教した。清州で殉教した장 [ジャン] トマスと慶尙道咸安 [ハマン] で殉教した구한선 [具漢善・クハンソン] タデオは、1866年の何月に殉教したのかを確認することができないでいる。丙寅迫害は、迫害の中でも一番残酷な迫害だったからである。

▷1867年1月には晉州 [チンジュ] で정찬문 [鄭燦文・ジョンチャンムン] アントニオが、統營 [トヨン] で김기량 [金耆良・キムギリャン] フェリクス・ペトロが、尙州 [サンジュ] で박상근 [パクサングン] マチアが殉教した。同年、ソウルで殉教した송 [ソン] ベネディクトとペトロ、이 [イ] アンナ家族殉教者も、やはり、何月に殉教したのか確認することができないでいる

▷1868年の夏に東萊 [トンネ] で이정식 [李廷植・イジョンシク] ヨハネと양재현 [梁在鉉・ヤンジエヒョン] マルチノが殉教した。9月には、이양등 [李陽登・イヤンドゥン] ペトロと김종륜 [金宗倫・キムジョンニョン] ルカ、허인백 [許仁伯・ホインベク] ヤコボが蔚山で殉教した。同月、박 [パク] フランシスコと오 [オ] マルガリータ夫婦殉教者が、京畿道竹山 [チュクサン] で殉教した。10月には박대식 [朴大植・パクデシク] ビクトリノが大邱で殉教した。

▷1888年4月には信仰の自由が認められたが、地方では、認識不足から、晉州で윤봉문 [尹鳳文・ユンボンムン] ヨセフが殉教した。

※CBCK のHP (<http://www.cbck.or.kr>) から、列聖列福司教特別委員会の該当頁に入り、「124 殉教者」についての概要記事 (http://www.koreanmartyrs.or.kr/sbss124_2.php) を翻訳した。

※日本語にはない単語や表現があった場合は、適切な日本語に訳した。また、説明が必要と思われる箇所には脚注を加えた。

※人名・地名については、漢字表記の判明したものについては漢字・カタカナを表記し、不明なものについてはカタカナのみを表記した。

〈윤지충 [尹持忠・ユンジチュン]パウロと 123 殉教者の列福式〉

列福ミサ 2014年8月16日 (於: 光化門広場)

肖像画 左: 윤지충 [尹持忠・ユンジチュン]パウロ

右: 주문모 [周文謨・チュムンモ] ヤコブ神父

